

光鯨会だより

第39号 [令和7年12月]

発行 | 光鯨会
会長 | 小野 徹郎 (S43)
本部長 | 井戸田 秀樹 (S58)
連絡先 | 濱田 晋一 (DH22)

✉ koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp

HP | <https://koukokai.jp/home>

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内
()内の数字は卒業年次を示します。またM:修士、D:博士 での卒業になります。

I | 会長挨拶

□ 会長挨拶 「コップの中の嵐に思うこと」

小野 徹郎 (S43) 光鯨会会長／名古屋工業大学名誉教授



今年の夏の暑さには参りましたが、季節の移り変わりには驚かされます。この「光鯨会だより」が会員の皆様方のお手元に届く頃には師走のお忙しい時期になっていると思います。光鯨会も 120 年の歴史を刻んで参りました。今年も本部総会、関東支部総会、関西支部総会が、各支部長及び幹事の方々のご尽力で無事開催されましたこと厚く御礼申し上げます。関西支部では長谷川さん、蔦田さん、中山さんと 2 次会に繰り出し、世代を超えた母校談義に時間を忘れてしまいました。これも同窓冥利です。今年は第 9 回の鈴木禎次賞が、ゲスト審査員に建築家青木茂氏をお迎えして開催され 11 月に表彰式が行われました。前回から若山先生や私は退任し若い先生方の新しい目で審査が行われています。益々の隆盛を期待します。

我が国では石破総理が 1 年余りで辞任して、10 月には自民党の総裁選挙が行われて高市政権が誕生しています。右派勢力が勢いを増すような傾向が見られこの先心配です。それにしても国は自民党の「コップの中の嵐」に巻き込まれ

て国政が停滞しています。野党は野党で右から左まで分裂し、小さな目先の利益ばかりを追い求める施策の議論に辟易しています。世界的に政治情勢も経済情勢も難しい局面を迎えている時に、こんな狭い大局観のない争いに明け暮れていては日本は益々世界で埋没するのではないのでしょうか。

一方、名工大は地方国立大学のトップを切って授業料の値上げに踏み切りました。これが吉と出るか凶と出るかはわかりません。しかし本来国立大学は国の教育行政の中で、誰でもが低額の授業料で学べる組織として運営されるべきものです。GDP に占める教育関係の国の予算比は先進国の中でも最低で、国立大学の管理運営費の切り捨ては言語道断のはずです。教育行政のおかしな側面は私立高校の授業料の無償化もその一例です。無償化の前に公立高校の施設、教員の充実を図るべきだともおいますが如何でしょうか。

教育は国の根幹をなすものです。この先の見えない教育行政のもと、名工大が明るい未来に向かって進むには如何なる施策が必要か私にはわかりません。ただ大学の努力は当然ですが卒業生の有形無形の支援が必要です。これまでもこれからも光鯨会はその中心になりたいものです。今後とも会員の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

II | 恩師だより

市之瀬 敏勝 (S52) 名古屋工業大学名誉教授



私は 1977 年に名工大を卒業し、1982 年から 2020 年まで 38 年間にわたり名工大で勤務させていただきました。授業は、鉄筋コンクリート構造や構造力学などを担当しました。ゾウのぬいぐるみを使って楽しい授業を心掛けたつもりですが、毎年の

授業評価では、声が小さいとか、眠くなるなど、厳しい意見をいただきました。これらについてはなかなか改善できないまま定年を迎えてしまいました。

構造実験室で研究室の皆さんと実験に取り組んだことは今でも楽しい思い出です。構造実験は重量物を扱い、大きな荷重を加えるため、危険と隣り合わせです。私の安全管理

は万全ではなかったかと思いますが、在職中の実験で大きな事故がなかったのは幸いでした。学生や同僚の皆さんの高い意識とご協力のおかげと感謝しています。

私の弱点は、大学だけに在籍し、設計や施工に関する実務経験がなかったことです。そのため研究テーマの選定などにおいて視野が狭くなりがちでした。しかし、建築界で活躍する先輩や後輩の皆さまに多くのことを教えていただき、何とか仕事を続けることができました。

退職後は 3 年間、名城大学に勤務し、その後は確認機関などで工法や建物の構造評定をお手伝いしております。ここでも、名工大卒業生による新しい工法や斬新な設計に接することができ、日々刺激を受けています。年をとるごとに新しい出会いがあって驚きの毎日です。今後ともよろしくお願いいたします。

III | 卒業生は今

□本部

吉口 勝史 (H1) (株)竹中工務店

平成元年に卒業し、竹中工務店に入社して早くも36年経ちました。入社以来、主に施工管理業務が中心で、名古屋地区をベースに北陸や海外の作業所も経験しました。携わったプロジェクト全てが良い思い出ですが、あえて挙げると、20代半ばで担当したトヨタ産業技術記念館(1994年竣工)では、大正時代のレンガ造建物の劣化調査から本工事の施工管理まで担当し、プロジェクトの計画段階から竣工まで経験できたのは貴重な体験でした。名古屋市科学館(2011年竣工)では、建築主や設計者にも名工大卒の方がおられ、深い親近感と良い信頼関係の中で世界一のプラネタリウムを手掛けることができ、楽しい仕事でした。グローバルゲート(2017年竣工)では、自身として初めて超高層複合ビルを担当し、大所帯の組織

をまとめながら仕事をする現場管理者の醍醐味を味わえました。5年前から作業所を離れ内勤となり、昨年からは名古屋支店全体を束ねる立場となった為、直接的にプロジェクトを担当することはなくなりましたが、当社設計施工の瑞穂陸上競技場やザ・ランドマーク名古屋栄等を通じて建物作りの楽しさを味わっています。また、社内外で名工大卒の方に会う機会が増え、改めて母校の歴史と卒業生の層の厚さを実感している今日この頃です。



名古屋市科学館



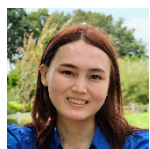
グローバルゲート



瑞穂陸上競技場

□関東支部

戸塚 真里奈 (H26) 千葉大学助教



修士課程まではRC造を学び、企業勤務を経て博士課程から東大で木質構造の道へ進みました。2021年より千葉大学で助教を務めています。

このたび、学術雑誌 Journal of Wood Science に掲載された論文「Experimental study on bearing strength of solid timber partially compressed parallel to the grain」につきまして、日本建築学会奨励賞を受賞しました。受賞論文は木材の繊維方向圧縮に関する基礎研究です。今回の受賞では、「これまで経験的にしか知られていなかった、力に加わった部分の境界に生じる低剛性部『ダメージゾーン』」の存在を明らかにし、それによって木材全体の挙動を巧みに説明できる

ようになった点」を特に高く評価いただきました。

現在は、その研究に加え、木材の弱点である割裂破壊のメカニズム解明、木質構造の高剛性・耐力化、RCと木を組み合わせた混構造の開発などを通じ、中大規模木造建築をより安全で、より自由に設計するための研究に取り組んでいます。

ご指導くださった市之瀬敏勝先生、稲山正弘先生、青木謙治先生のおかげで今日の私があります。この受賞を励みとし、世界を渡り歩く木質構造の第一人者になれるよう、今後も一層研究に精進して参ります。



□関西支部

齊藤 航 (H6) (株)鴻池組

鴻池組に1994年に入社し31年経ちました。入社後は名古屋支店の現場で20年間13現場に従事し、4年目の時には母校名工大6号館新築工事を担当しました。現在は本社にて社員教育・人財育成を担当し5年目になります。

最も思い出深い工事は2005年、入社11年目の時に担当した『岐阜県警察本部庁舎』です。桁側がPCのため無足場施工としている中、円形のヘリポートは建物からオーバーハングしており、建方作業や仕上作業のための仮設計画に工夫が必要だったこと、また下地鉄骨で水勾配を取りその上に鉄板張りという精度の確保に苦心しました。また立地が長良川に近いため水害を考慮し2階をエントランスとする計画となっ

ており、免震装置は1階の柱頭に配置されています。3層吹き抜けの内部階段もフロアからの片持ちおよび踊り場をタイロッドで吊り下げる構造となっており、沈み込みをシミュレーションした建方後、支保工を解体する時はかなり緊張したことを今でも憶えています。

通信指令室や交通管制センターは随時見学受付されているので、興味のある方はお立ち寄り下さい。



庁舎全景



ヘリポート鉄骨建方

IV | 大学は今

□分野長挨拶

北川 啓介 (H8) 建築・デザイン分野長／名古屋工業大学教授

2025 年度も光鯨会会員の皆様には、本学建築・デザイン分野の教育研究活動へのご理解とご支援を賜り、あらためて心より感謝申し上げます。

第一に、人事面のトピックとして、2025 年 9 月より、建築設計・デザインを専門とする岡慶一郎特任准教授 (H21 学部、R7 博士) が、クロスアポイントメント教員として着任されました。岡特任准教授は、2025 年 3 月に本学において博士 (工学) を取得されており、研究者としての確かな基盤に加え、実務家としての設計活動にも精力的に取り組んでおられます。建築設計製図演習等を担当いただくとともに、自身の研究と設計実務を往還させながら、「実務と学術の橋渡し役」として重要な役割を担っていただく予定です。

第二に、ポスト・コロナ期の教育環境の変化です。

感染症拡大期には、法律に基づく行政からの要請等を受け、本学でも学生演習室であるデザインスタジオの終日開放が難しい時期が続きました。しかしこの数年で、社会全体が一律の行動制限から個人や組織の選択を尊重する仕組みへと移行し、キャンパスにおいてもコロナの影響はほぼ意識されなくなりました。現在では、旧建築棟 4 階のスタジオには昼夜を問わず学生が集い、自発的に模型や図面、プログラミングやパラメトリックデザインなど、思い思いのテーマに没頭しています。私も夜遅くなり深夜にキャンパス内を歩いていますと、窓越しに灯るスタジオの明かりと、議論や笑い声、時に複数名での討議の会話が聞こえてくることがあります。(より詳細な内容は二次元コードへ)



□OB・OG交流会

神野 貴之 (H11) 前田建設工業(株)

10 月 14 日に光鯨会第 20 回 OB・OG 交流会が名古屋工業大学で開催されました。本交流会は学部生、大学院生を対象に、OB・OG から仕事の内容や職場の様子、就職のアドバイスを交え、今後の進路の参考にしてもらうことを目的に毎年開催されています。

第 1 部は先輩からのガイダンスとして、下記 5 名の OB・OG の方にゼネコンの設計及び施工部門、ハウスメーカー、官公庁、インフラ関係の様々な立場から、仕事内容や勤務状況等について話をいただきました。

- ・山本 隆平さん (R03 卒 前田建設工業(株))
- ・山形 睦乃さん (H30 卒 清水建設(株))
- ・早田 怜央さん (H29 卒 大和ハウス工業(株))

- ・小林 由幸さん (H24 卒 名古屋市)
- ・三宅 航平さん (H27 卒 名古屋鉄道(株))

第 2 部は大学会館食堂に移動し、懇親会を行いました。懇親会ではガイダンスよりも踏み込んだ本音の話も繰り広げられ、大いに盛り上がりました。来年以降も OB・OG 交流会を継続して開催していきたいと考えております。



□秋の見学会報告

戸谷 奈貴 (H25) (株)竹中工務店

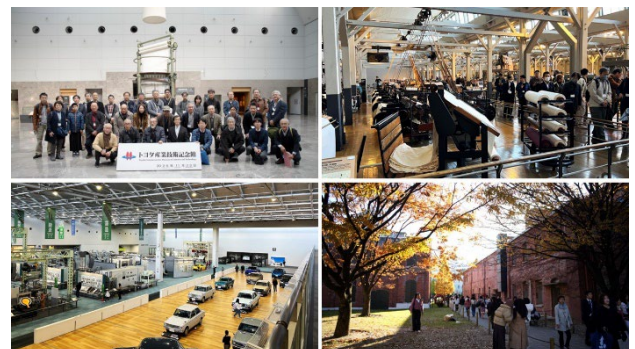
11 月 22 日 (土) に 2025 年度の秋の見学会が実施されました。本年度も毎年恒例となっている名古屋工業会名古屋支部の見学研修会に参加する形で実施され、光鯨会からは 8 名 (他会も含めた総勢 36 名) の方が参加されました。

今回は、午前にはトヨタ産業技術記念館の見学、K K R ホテル名古屋での昼食の後、午後はノリタケの森見学という行程でした。

トヨタ産業技術記念館では、赤レンガの建物を産業遺産として保存・活用した空間に、近代日本の発展を支えた基幹産業のひとつである繊維機械と、現代を開拓し続ける自動車技術の変遷が展示されており、迫力のある本物の機械や多彩な実演を通して、研究と創造の精神を感じることができました。

ノリタケの森では、赤レンガの建築群を背景に紅葉が見頃を迎えており、ショッピングを楽しんだり、ノリタケ製品の展示を見学したりしました。

天候にも恵まれ、モノづくりを学び直す素晴らしい旅となりました。



V | 光鯨会は今

□関東支部だより

宇佐美 徹 (H3) 関東支部長／(株)竹中工務店

光鯨会関東支部では、11月28日に関東支部総会・懇親会を大手町のサンケイビルで開催しました。

総会後の懇親会には43名の方に出席いただきました。そのうち3名は令和になってからの卒業生です。本部からは小野会長、井戸田本部長にお越しいただきました。

総会では議案3件が無事承認された後、今回で9回目になりますが、本年は2年に一度の鈴木禎次賞の年でしたので、顧問を務められた若山先生から受賞作品の総評をしていただきました。応募総数74点の中から大賞を含め全7作品が選ばれ、1件は名工大の卒業生の手がけたものでした。

総会後の全国大会懇親会では小野会長の挨拶の後、山下先輩(S40卒)の発声による乾杯で懇親会が始まりました。

初めに井戸田本部長より大学の近況報告を頂き、また本年度の退職に伴い本部長を辞任されとのことでした。続いて神澤先輩(S58卒)より関西支部総会の報告をしていただきました。また、中川さん(H11卒)より鈴木禎次賞受賞作品の紹介を、令和卒

の3名から抱負を含めた自己紹介をしていただきました。最後に吉井副会長(S58卒)に懇親会を締め切ってもらい、盛況の中無事閉会しました。

最後になりますが、関東支部総会実施に協力いただいた関東支部役員の皆様に感謝いたします。



懇親会の様子



若山先生総評

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

(株)竹中工務店 (080-2454-9012)

関東支部長 宇佐美徹 (H3)、事務局 山崎賢二 (H13)

副支部長 鈴木孝彦 (S59)、工藤利昭 (S61)

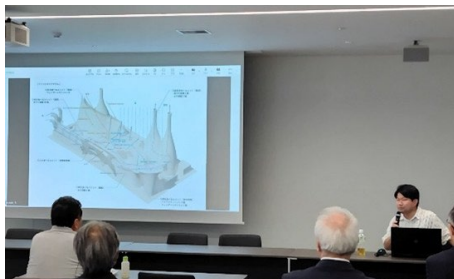
□関西支部だより

神澤 宏明 (S58) 関西支部長／(株)鴻池組

光鯨会関西支部の令和7年7月以降の活動内容について、報告いたします。

8/1の幹事会とミニ講演会では、支部総会について詳細な議論を行い、本部相談役を務めておられる長谷川先輩(S38)より、戦後80年が経過したことに鑑み、実体験をもとにした大阪空襲時の様子を、語り部としてお話しいただきました。

10/18の支部総会では、“閉会直後の大阪・関西万博を語ろう”をテーマに、会場を万博会場・夢洲の対岸にある咲州(南港)に設定しました。まず、本年夏にオープンしたばかりの大阪広域生コンクリート協同組合様のテクノ・ラボ大阪に集合し、コンクリート打放しを大胆に取り入れた同施設を見学しました。続いて、万博会場内のトイレ5の設計を担当された米澤隆先生(H26博士)をお招きし、“愛憎と創造のあいだで—大阪・関西万



熱演される米澤先生

博、2億円トイレとは何だったのか?”との演題で、プロジェクトに対する真摯な思いを語っていただきました。総会では、光鯨会小野会長(S43)と工業会大阪支部堀口支部長(C59)から、開会にあたってのご挨拶を賜り、小野会長からは母校の近況についてのお話も伺いました。総会後は、大阪府咲州庁舎の48Fにあるビュッフェに座を移して懇親会を催し、万博会場の木造リングを見下ろしながら、楽しい時間を過ごすことができました。最後になりますが、企画運営に奔走していただきました支部役員の皆様、お疲れさまでした。



集合写真(咲州庁舎48Fにて)

光鯨会だより

第39号 [令和7年12月] 特集版

発行 | 光鯨会
会長 | 小野 徹郎 (S43)
本部長 | 井戸田 秀樹 (S58)
連絡先 | 濱田 晋一 (DH22)

HP | <https://koukokai.jp/home>

✉ koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内

□鯨ボックス寄付者 2025年11月末日までにお手配くださった方を記載 (敬称略)

[S25]蟹江 三郎 (6)、[S32]清谷 太一 (1)、阪上隆 (1)、水野 達夫 (1)、[S33]春田 直明 (2)、[S35]牧 猛夫 (4)、[S38]鶴飼 邦夫 (2)、長谷川 孝 (2)、[S39]遠藤 順彦 (2)、岡本 賢 (2)、村瀬 正晴 (1)、高橋 宏之 (2)、山田 宗廣 (1)、[S40]東 英樹 (1)、柿沼 敬喜 (2)、三好 修 (1)、堤 真司 (3000円)、[S41]阿部 稔雄 (2)、加藤 劍治 (1)、芳村 恵司 (2)、[S42]水谷 友彦 (2)、[S43]小野 徹郎 (2)、高橋 繁二 (2)、薬師寺 宣安 (4)、[S44]中井 勝敏 (1)、橋村 一彦 (2)、山根 勝彌 (1)、戸川 仁 (1)、[S45]荒金 謙一 (1)、菅野 淳博 (1)、[S46]森 英範 (4)、[S49]村上 貞明 (7000円)、玉置 博計 (2)、[S50]井上 修一 (1)、吉村 尚 (1)、[S52]葛田 守弘 (1)、[S54]石川 時雄 (1)、中村 浩巳 (1)、濱村 一雄 (1)、[S55]工藤 高宏 (1)、[S56]小林 秀実 (1)、中西 正明 (1)、堀之内 雄一 (1)、[S57]高木 晃二 (1)、[S58]卒業生有志一同 (18000円)、鈴木 勉 (2)、中蘭 昭彦 (2)、廣瀬 善香 (2000円)、山下 明男 (1)、[S59]小川 浩信 (2)、鹿島 孝 (1)、鈴木 孝彦 (1)、[S60]土井 邦夫 (1)、羽津 本好弘 (2)、[H1]武田 基 (1)、[H2]岡田 博文 (1)、寺西 敦敏 (1)、[H3]近藤 正一 (1)、[H4]吉田 文久 (1)、[H6]瀬藤 慎一 (1)、[H8]鈴木 晶博 (2)、土方 和己 (1)、[H9]加古 康也 (1)、[H10]花井 伸明 (2)、[H11]上里 智之 (2)、神野 貴之 (1)、[H12]岡田 貴行 (1)、[H16]山本 祐樹 (1)、[H18]箕田 知之 (3000円)、[H25]戸谷 奈貴 (1)、[R7]井出 快人 (1)、[MS46]上林 研二 (4)、[MS49]小倉 正憲 (2)、[DR3]水野 貴子 (2)

※ご寄付いただいた額のお口数をお名前の後ろに記載しております。なお、5000円未満を1口とさせていただきます。

※鯨ボックスへの寄付は随時受け付けております。ご寄付くださる際、ぜひメッセージを添えてください。適宜、本紙にてご紹介いたします。

□年会費納入者 (一般・自動振込) 2025年11月末日までにお手配くださった方を記載 (敬称略)

一般: [S46]乾 康雄、江畑 弘、小林 哲郎、呉屋 守将、近藤 豊太郎、齋藤 彰良、竹川 忍、寺田 仁、野上 邦宏、野呂 一幸、松並 孝明、元谷 瑛、[S47]石田 進、大村 健一、春日 晴紀、川嶋 泰裕、川嶋 陽介、河村 孝一、佐伯 克彦、酒井 澄、島田 啓三、難波 剛、宮口 恒樹、[S48]小林 真澄、高村 利昭、立木 亨、柳川 進一、渡邊 拓人、[S49]石田 壽、村上 貞明、鉤持 政之、玉置 博計、南 源司、[S50]岡本 敏嗣、栗林 政道、須原 享志、高橋 和生、竹内 一博、竹内 三郎、山田 一信、[S51]河合 克美、齋藤 文伸、佐藤 昌紀、武内 幸治、武田 雄二、千葉 茂樹、三村 俊雄、[S52]岩井 衛、熊野 俊昭、末永 俊彦、高木 郁生、武仲 裕司、樽見 大三、葛田 守弘、徳久 光彦、中村 豊、中山 益蔵、福井 雅彦、真井 邦晃、湊口 民弥、[S53]阿津地 武宏、伊藤 雅春、木村 正彦、[S54]岩波 正、里川 幸夫、高橋 茂治、田中 義久、谷 宣広、豊島 直人、中西 達彦、濱村 一雄、[S55]逸見 徳治、勘代 敬子、工藤 高宏、久保 光範、古賀 靖廣、小島 功、杉澤 和男、鈴木 雅宏、谷口 裕、中川 晶夫、水谷 公子、水谷 信雄、[S56]赤松 猛、伊藤 辰也、大竹 康久、上梅澤 保博、桑原 史明、雑賀 俊宏、佐々木 康行、瀬沼 則彦、伏見 光雅、山下 昌洋、[S57]磯貝 勇壽、内田 光一、北本 義朗、剣持 嘉則、坂口 敏雄、田邊 太一、服部 豊、[S58]石川 誠、岩田 康徳、神澤 宏明、小山 高夫、酒井 正樹、武田 敏史、立川 淳、豊田 光利、新美 康夫、野田 勝久、廣瀬 善香、宮浦 克仁、山下 明男、[S59]壁谷 明典、唐澤 邦夫、河原 弘明、酒井 賢、鈴木 孝彦、田口 亮一、塚本 彰、丹羽 一人、吉本 辰哉、[S60]市川 健二、榎 和伸、島田 敏明、杉坂 正、住 哲也、土井 邦夫、豊嶋 卓也、日野 直人、森 恵美、山川 博幹、[S61]近藤 伸一、佐藤 正幸、白石 記之、鈴木 秀年、田中 浩、種井 伸司、辻 博久、渡邊 太海、[S62]今井 奈穂美、太田 原克則、加藤 茂裕、川井 裕基、黒崎 仁資、黒崎 英子、原 寿成、[S63]石井 俊作、大西 稔、田中 薫、羽入 田茂、[H1]生本 孝幸、石垣 秀志、高野 雅文、武田 基、寺本 光治、松永 茂巳、吉口 勝史、[H2]稲葉 一秀、大上 純一、大木 仁、岡田 博文、岡塩 淳、白木 康之、杉浦 馨、高岡 秀明、田中 国彦、寺西 敦敏、沼田 岳彦、森 和久、横尾 慎一、渡邊 諭、[H3]井上 寿、護摩 堂淳、坂神 光則、竹内 健一、谷口 智則、二村 定治、早川 由則、池沼 靖子、山田 知樹、渡邊 孝一、[H4]岩田 佳子、釜田 学、吉田 文久、和田 真、[H5]大久保 俊克、尾崎 亮、寺島 宜孝、豊田 康明、羽生 田剛成、牧野 健、山崎 純一郎、六 嶋 敬子、[H6]安藤 健、池田 孝洋、井上 敬之、宇佐美 智伯、田中 瑞己、西村 幸洋、牧野 利華、[H7]奥山 照美、是澤 紀子、田口 博晃、長江 健治、羽生 田善将、本並 洋二、鷺津 愛、鷺津 篤夫、[H8]伊藤 嘉規、木下 淳、土方 和己、[H9]青木 哲、加古 康也、中島 正人、竹内 靖子、馬淵 誠、[H10]木村 文子、後藤 大輔、巢元 剛、辻 敦、水谷 恵子、横井 智雄、渡邊 恒久、[H11]上里 智之、太田 綾子、勝木 隆洋、小島 邦裕、神野 貴之、中川 康弘、林 幸司、堀内 宏樹、[H12]大島 穰、大橋 一仁、岡田 貴行、掃部 顕吾、藤井 理史、森 洋一、[H13]勝木 直子、魚住 将之、[H14]井上 雄貴、上坂 一謙、[H15]各務 篤史、野本 篤史、山田 健博、[H16]菅野 貴弘、[H17]清水 玲子、[H18]大川 和也、牧野 加緒里、笹嶋 博、多田 慧、長坂 真理子、箕田 知之、[H19]今村 こゆき、姜 延達、初山 恵利、加藤 智那、松本 浩明、[H20]今 西 拓慎、大谷 友香、柴田 篤宏、岩波 史恵、平井 佐代子、[H21]吉田 和也、[H22]小島 崇徳、[H24]荒金 賛太、伊藤 公人、川瀬 喬久、三井 和也、[H25]伊藤 大輝、木 田 脩太、戸谷 奈貴、久木 宏紀、森 誠司、山崎 航一、[H26]大矢 知良、小林 恵、戸塚 真里奈、山崎 香菜絵、[H27]加藤 正都、柳原 崇文、中澤 真平、鳴海 晃司、長 谷川 大樹、横井 広一、[H28]市井 晁、佐脇 祥郎、山田 風人、北川 大祐、[H29]鈴木 智子、丹羽 涼介、[H30]小野 木武司、[H31]佐藤 拓海、森 瞭太、[R2]津田 怜治、[R3]小野 和也、金子 真大、後藤 田 早知恵、[R5]藤本 晃希、大田 海斗、[R6]恩地 大輝、都筑 祐人、[R7]井出 快人、棟保 輝哉、[MS52]細川 裕司、[MS56]服部 光夫、[MH10]宇野 勇治、服部 啓子、[MH18]嶺岡 慎悟、杉山 祐一郎、[MH20]渡辺 悠司、[MH22]崔 明姬、[MH27]藤川 大輝、[DH19]三阪 朋彦、[DH25]八代 美智子

自動振込: [S43]岡田 典久、[S46]岡崎 格郎、久野 道夫、三浦 茂、[S47]片山 憲一、[S48]河崎 恭広、勢力 常史、関戸 博高、西村 雅史、平野 悟、森 雅幸、[S49]市川 達夫、遠藤 茂樹、満田 高久、[S50]岡本 光生、八神 博史、吉村 尚、[S51]掛布 勇、酒井 直己、玉水 新吾、西井 信幸、布目 彰夫、[S52]浅野 泰樹、市之瀬 敏勝、[S53]杉 戸 厚吉、早矢 仕昭、澤澤 繁男、[S54]井上 康造、谷垣 正彰、山崎 健司、[S55]朝倉 祥行、三宅 辰哉、[S56]池村 和久、小林 秀実、佐久間 昭男、高嶋 繁男、長谷 部 斎、藤本 信介、[S57]大塚 善史、杉本 靖夫、高木 晃二、竹内 義高、中川 進一郎、花井 勉、福田 満、水谷 剛、[S58]井戸 秀樹、宇崎 功二郎、裏橋 信夫、小倉 俊彦、近藤 修、鈴木 勉、水谷 且哉、吉田 賢吾、[S59]市之瀬 和明、小川 浩信、児玉 博、小山 明、田中 義成、西村 吉史、宮地 陽司、山下 司、[S60]柘植 誠、羽津 本好弘、[S62]近藤 浩史、高野 貢一、富田 彰久、[S63]石田 広広、岡田 秀明、[H1]加藤 伯彦、渡邊 明宏、[H2]清原 猛嗣、恒川 真一、長尾 茂樹、長谷川 利樹、[H3]宇佐美 徹、寺田 憲二、宮島 孝之、[H4]佐藤 裕一、[H5]下野 耕一、鶴田 幸恵、永田 誠、[H6]浅野 健、橋本 幸治、[H7]上之郷 貴重、[H8]北川 啓介、鈴木 晶博、中村 祥保、[H9]浅野 正裕、田中 俊洋、[H10]北川 珠美、金 晃晃、佐藤 篤司、成田 憲人、花井 伸明、濱口 順司、[H11]小山 裕介、[H12]澤井 清輔、[H13]水谷 安孝、山崎 賢二、渡部 友幸、[H14]奥田 崇、田中 弘臣、日比野 陽、[H15]安藤 悟、井川 崇史、上原 大輔、[H16]石川 雄一、[H17]佐藤 和哉、澤 秀俊、[H20]二 井建、[H21]金子 慶太、[H23]青山 昇洋、伊藤 嘉基、嶋 亜由美、彦坂 雄三、[H24]桑山 もも、水野 翔太、山川 陽平、[H25]岡本 光平、春日 功助、小林 亮太、中村 公哉、橋本 慧、小笠原 裕光、[H26]佐々木 裕佑矢、新海 智之、平 翔、[H27]杉岡 敬幸、守谷 直人、[H28]青山 雅弘、河合 大志、後藤 良介、高井 峻、[H29]早川 健一、吉田 成克、[H30]鈴木 泰嗣、[H31]井上 裕太、柴垣 有希穂、[R2]大石 龍之介、田上 功也、林 拓朗、[R3]北川 佑亮、藤川 真、[MH11]富山 正士、[MH16]下山 悠、[MH21]小島 恵子、[DH23]高橋 之、[DR3]水野 貴子

□終身会員 2025年11月末日までにお手配くださった方を記載 (敬称略)

[S46]奥原 久之、松田 登、森 英範、[S47]平松 充、[S48]大橋 芳雄、小野 利晴、川端 寛文、倉岡 誠一、前田 俊雄、[S49]小川 修、小松 信春、竹嶋 幸彦、中本 浩二、湯本 尚樹、[S50]石川 恵子、井上 修一、小田 義彦、小田 一之、上林 進、金斗 克彦、楠田 修三、畔木 穠治、黒田 孝亮、鈴木 幸治、龍野 広、松永 勝己、宮崎 光生、[S51]井澤 知巨、来田 光博、北出 正俊、慶 次操、水谷 章夫、吉原 俊雄、[S53]東 加寿好、神谷 省次、森本 泰崇、[S54]石川 時雄、小山 裕康、田中 清之、中出 裕康、中村 浩巳、安田 勝彦、[S55]岡本 哲美、宮本 和則、[S56]樋山 和生、大島 弘貴、高藤 勝己、疊谷 尚広、中西 正明、平野 富之、堀之内 雄一、[S57]黒野 忠之、竹村 誠二、徳野 亨、松井 明子、山邊 雅英、[S58]石田 富男、末廣 晃一、須原 宏、中蘭 昭彦、吉井 正行、渡邊 吉文、[S59]鹿島 孝、河辺 伸二、中尾 勝悦、中瀬 知幸、[S60]佐藤 薫、柴田 利治、角 克彦、松田 浩司、安江 達郎、[S61]上村 肇、工藤 利昭、竹下 均、[S62]平沢 実、[S63]野田 雄一、[H3]近藤 正一、[H4]甲村 健一、武藤 正樹、[H5]川端 克尚、夏目 欣昇、山本 睦生、[H6]近藤 早映、瀬藤 慎一、[H7]山縣 正、[H11]小林 竜馬、吉田 孝司、[H12]角田 高志、[H14]野田 聡、[H16]佐々木 哲朗、山本 祐樹、[H21]鈴木 康紘、平井 健一、[MS46]上林 研二、[MS49]小倉 正憲、[MS52]尾崎 猛美、[MS56]岡本 真理子、[MS57]城戸 康近、[MH15]加納 進、[MH17]伊藤 洋介、[DH8]趙 衍剛

※光鯨会の皆様は皆様の会費によって成り立っています。同級生の皆さまにも会費納入のお声掛けください。

※光鯨会だよりでは会員からの投稿を募集しております。お知らせや近況等、本会本部事務局までお知らせください。